

会議録審議会等

審議会等の名称	平成29年度 第1回環境基本計画策定部会
開催日時	平成29年8月3日(木) 10:00~12:00
開催場所	清掃工場 1階会議室
公開・部分公開の区分	公開
出席者	浮田委員(部会長)、今村委員、前田委員、豊田委員、福代委員、坂本委員 敬称省略・順不同(6人)
欠席者	なし
事務局	(環境政策課) : 岡村課長、福谷主幹、竹内主幹、野村主査、山村 (5人)
議題	<ul style="list-style-type: none"> ・環境基本計画骨子案について ・温暖化対策実行計画骨子案について
	<p>策定部会の開催に先立ち、事務局あいさつの後、部会長の進行により議事に入った。</p> <p>【部会長】 それでは、最初にお諮りさせていただきます。当部会は原則として公開し、議事録についても公表することとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」と呼ぶ者あり)</p> <p>【部会長】 それでは、そのようにさせていただきます。本日の議論は、環境基本計画骨子案と温暖化対策実行計画骨子案について協議したいと思います。全体で2時間の予定で、環境基本計画から議論を始めますと時間がありませんので、途中で温暖化の実行計画についても意見をいただきながら進めていきたいと思っております。</p> <p>【事務局】 こちらの方で基本計画の骨子について説明をしまして、意見をいただくときに実行計画の骨子案も事前にお渡ししていますので、一緒に意見をいただくという形で進めていきたいと思っております。また、議事録も出しますので終了後に意見をいただければと思います。</p>

【部会長】

それでは、事務局から本日の議題について説明をお願いいたします。

【事務局】 基本計画骨子案について説明

【部会長】

骨子案について説明をいただきましたが、記述やイメージといった全体的な部分で何か意見はありますか。ざっと見た感じ、こうやって並べられると、一般市民の立場からすごく読みにくいなと感じました。同じような目次をずっと見せられているような感じですが、骨子案なので意識して整理しないと。一般市民が大事だと思いますので、じっくり読み込むことが難しいのではないかと思います。同じ言葉が何度でも出てきますし、一般廃棄物の処理基本計画はごみの処理をするための計画なので切り分けがしやすいと思いますが、地球温暖化の実行計画の方は環境目標1と実行計画の内容がほとんど同じになっていると思います。そういった切り分けを市民に分かりやすいように、どう違うのか。環境基本計画における温暖化対策の切り口、実行計画との切り口がスッと頭に入るように工夫が必要です。環境目標4でも同じ内容がありますし、環境審議会でも東委員の方から市民に分かりやすいようにという意見もありました。本編の途中でのコラムも思考が停止しますので、資料編にまとめた方がいいと思いました。これは個人の趣味もありますので、他の委員さんはどうですか。

【委員】

確かに、よくまとめてありますけれども、何でもやりますというようにも見えてしまいますので、もう少し強弱をつけても良いのではと思います。目標が循環型社会、低炭素という括りで分かれているので、ここを市民が取り組むこと、事業者が取り組むことという切り口でまとめるのもひとつの方法だと思います。

【委員】

基本計画としてまとめた時に誰が読むのかという点でとらえると、全体像はこの冊子であって概要版としてパンフレットの的なものを作られるのであれば、これでもいいと思います。最大限の情報が載っているものは必要ですし、どう展開するかをセットで考えた時に必要と思います。

【部会長】

概要版は網羅的には書けないですね。

【事務局】

計画を作った後に、進行管理指標に従って、年次報告書という形でまとめて、環境概要を作り進行管理をしているのですが、最近の審議会の指摘事項としては、進行管理指標が適当であるのか、これは、環境のどこでいい方向に向かっているのかといった視点がありまして、そういった所にも着目して作っています。この基本計画で毎年進行管理をしていくのですが、具体的な事務事業をお示ししていないので、分かりにくい状況ではあります。基本的に総合計画の方で実行していく事務事業がここに上がってきます。

【部会長】

事務事業というのは具体的には。

【事務局】

実際に予算を持って行う事業のことです。

【部会長】

事務局で作られる計画は市の立場で作られます。それも大事ですが、前面に出すぎると市民には分かりにくくなると思います。どうしても自分主体で物事を考えますので、途中の議論でもありましたけれども、市役所の部局からの意見が出てくるのも市民は直接の関係はないと思っています。それは市が考えることです。ただこれからの環境問題は、市民が実行していかないと進みません。そういった意識を常に持っていただかないと、市民には事務事業が何のことか分からないです。

【事務局】

事務事業を書いていくというのでは、進行管理を行う上で総合計画と合わせておく必要があるという観点から説明しました。

【部会長】

今の環境基本計画ができて、これに対応した環境概要に変わりましたが、これを使って山口市の環境を説明するのが難しくなりました。昔であれば、大気、水質、廃棄物といった項目ごとに説明ができたのですが、これは市民にとって読みにくい気がします。計画の改定に当たって何か工夫ができないかなと思います。生活環境と自然共生をまとめられて、多岐にわたって書いてありますが、整理はされていると思います。

【事務局】

今後の予定としましては、審議会の委員さんから、エリア毎にまとめるとい

う話がありました。前計画には環境配慮指針という形で整理がしてありましたので、今回の計画では、環境目標の章立てとは別に市民の方にも分かりやすいようにエリアごとの整理を考えています。

【委員】

良くまとめられていますが、市民としてどういった行動を起こしていけばいいのか、気候変動は顕著で具体的にどうすればいいのかという記載があればいいと思います。

【部会長】

一般市民が読んで本気にやらないといけないなという気にならないといけないわけですね。我々委員でもスッと入ってこなければ、一般市民は難しいと思います。

【委員】

私の意見は、少し違って、確かに環境問題に対する市民の活動は大切だと思いますが、今回の市が作る計画は、この計画によってある程度、市に制約がかかるわけです。大事なのは、いったい市が何をしてくれるのかということに興味・関心があります。ここまでやって環境問題を解決する、市民を守ってくれるのかということです。

【部会長】

今の環境問題は昔と違って我々自身が加害者であるというのが多いですね。ごみにしても温室効果ガスにしても。

【委員】

環境問題というよりも市の行政にしっかりしてくださいという気持ちです。

【事務局】

行政評価という観点からの作り方というのはあると思います。記載の仕方としまして、どの程度の書き方になるというのはあると思います。

【部会長】

大事なことだとは思いますが、各部課ごとの政策を書かれ、それをどのぐらいやりましたということ書かれていても、それを市民がチェックする必要がありますか。行政の施策でも重点的なものがあり、そこを見れば分かるということがあり、あまり細かい事業ごとにされても全体が見えないのではと思います。

【事務局】

環境の事務事業は難しいところがありまして、市の取り組み自体が市民にとってどれぐらいの効果があるのか、また国や県と合わせて行う施策や取り組みもありますので、最終的な方向性に従って分類してあります。

【委員】

進行管理指標が前面に出て、環境目標ごとに施策がありますが、19ページの温暖化の部分で言いますと、現況と課題はいいと思いますが、この後いきなり進行管理にいらいます。基本的方向性、各主体の取り組みがきて、何をもって図るのかということと進行管理指標がくるのではないかと思いました。問題があり、取り組みはこうです、だれが取り組みます、結果としてこれで評価しますという書き方でないと、先に数字がありきでとられます。中身はいいですが、並べ方の問題とは思いますが、(1) 3) (4) (2) の順番ではないかと思います。また、47.48 ページでは進行管理指標がないのでどうしたらいいでしょうか。

【事務局】

進行管理指標は現在仮置きでして、総合計画との策定の進行を合わせている関係で、内部の方で協議中です。ご指摘のとおり現況と課題がありまして、方向性や取り組みについて協議し、指標について何が適当であるかを協議していますので、この部分についてはまだ記載していない状況です。

【事務局】

行政側の観点でこういった作りになっています。国も県も市もそうですが、PDCA サイクルにどっぷり浸かっていることがあります。数値目標を掲げてそこに向かって進んでいく考え方が染みついている部分もあります。ただ今いただいた意見は、目から鱗が落ちるところがありましたので、市民にとって分かりやすいという観点をもって考え直していきたいと思います。

【部会長】

47.48 ページで進行管理指標が考えられていないというのは、社会経済の仕組み作りが市のレベルでどこまでできるのかが難しい部分があるからということもあると思います。

【委員】

47.48 ページですが、再生可能エネルギーはトップに持ってこないといけません。水素ですけれど、どちらかという周南市がやる仕事で、どんどん書くのはいいですが、最重要課題かという問題です。書く順番ですけれど、こ

これは 10 年間の計画でそこは長期の取り組みかどうかというのはあります。私は水素に関してはブームのような気がします。

【事務局】

環境目標 4 の所はまだ詰め切れていないので意見を頂きたいのと、社会経済の仕組み作りという広いテーマですけれども、高齢化や農業に関して入れている関係です。他に何かあればお聞きしたいのですが。

【委員】

世界の車業界が電気に移行してきていて、充電スタンドをどんどん作るみたいなことを言っていました、水素のステーションも必要かもしれませんね。

【事務局】

エネルギーの考え方を整理するタイミングで、今後の 10 年で書き込めるのかというところがあります。国の方向性も決まっていな中でどういったことを市で行うか難しい面もあります。書くのか、書かないのか課題としての現状認識としてどの位置にあるのか、意見として参考にさせていただきたい。

【部会長】

市のレベルでできる上での重要な仕組みかな。

【事務局】

方向性としてどこまで書き込めるかという意見をいただきたい。

【委員】

難しい問題でして、これは環境だけでは済まない問題でして、市全体の方針と絡むところです。新エネルギーに拘るわけではないのですが、農業・高齢化は進行しつつある問題で間違いはないと思うのですが、個別のエネルギーとしてここに記載するのはどうかなと思います。もっと別の記載がいいかと思えます。電気に関しても流れが色々出てきていまして、防府市では観光地を回る際に電気自動車を貸し出しますとか、充電器を並べますとかあります。こういったものは 2.3 年で無くなるものではないので長いスケールで測れると思えます。周南市ではコンビナートがありますので、そう簡単に水素を放棄しないと思うのですけれども、山口市に置き換えた時に市で優先して取り組むべきことは何なのかという気がします。再生可能エネルギーの取り組みに関してはどこの市でも取り組みますので書いてもおかしくないと思えます。

【委員】

言われたことは、環境政策の話だけで収まらない部分で、だとしたら他の施策と絡めた形で、環境に関する施策を進めていく。自転車の利用促進も環境と観光、どうやって普及促進をしていくのか。他の施策と絡めた方が具体的なことが見えてくるのではないのでしょうか。

【事務局】

ただ今の意見に関しましては、そういった視点がありまして、6ページの方に計画の体系図を描きかけているのですが、環境基本計画と同レベルまたは実際の事務の遂行に必要な他の計画がたくさんございます。公共交通や農業農村のこともそうですし、ちょうど環境基本計画の見直しを行うタイミングで全て同時に改定作業が動いています。30年の3月4月で全ての策定が終わるのですが、環境政策課の方でも関連する会議には出席をさせていただき、環境に関する視点から意見を出して入れてもらっています。その他の関連計画の所が空欄になっていますのは、最終的には全て書き上げてお示しいたしますし、環境目標の1から4までも市役所のいろいろなところで関連してきますので具体的な書けるところは記入させていただきまします。今は分野別という時代でもありませんので、電気自動車の件もそうですし、普及すれば渋滞の緩和にも繋がりますので、少し飛躍する話ではありますが、免許を返納された方に対して、電動自転車をお勧めしてみるなど、福祉や交通政策などと関りが出てきますので連携を取りながら環境目標を達成できればいいなと思います。

【部会長】

実行計画の方で何か重要な指摘があれば意見を頂きたいのですが。

【委員】

これは網羅的に重要な話は書いてあり、進行管理指標も書いてありますが、これに基づいてチェックされるということはいいいのですが、先ほどの基本計画の方は誰が、何をという記載がありましたが、実行計画の方ではよく分からないで、そこが疑問でした。導入促進という記載が21ページにあります。これだけでは誰がというのが分かりですし、この計画の下に市民向けの何かを作られるのでしょうか。

【事務局】

ご指摘のとおり、今は網羅的に考えられることが記載してあります。この中からチョイスしたり追加したりがあろうかと思ひます。また実際の素案を作る際には主体ごとの記載にしたいと考えています。若干のボリュームが出ると思ひますが、取捨選択していこうと思ひます。重要なポイントは記載例を示しな

がら挙げていくことも必要かなと思います。

【委員】

骨子案があって、別冊のパンフレットがあり、HP等でも公開するイメージですか。これの下に具体的な計画があったりするのですか。

【事務局】

この冊子の中で整理をしたいと考えています。表記の方法としましては、現行の実行計画が主体の取り組みの個所に○を記載していますのでこういった方法も分かりやすいのかなとは思っていますが、もう少し具体的な記載も必要ではと思っています。

【部会長】

環境基本計画の環境目標 1 との関係性はどうなっているのですか。環境基本計画における低炭素の記載とあまりにも同じようではいけない。低炭素、地球温暖化、適応策はこちらにも記載されていますが。

【事務局】

基本計画と実行計画は上位法令も違いますし、温室効果ガスの削減が目標となっています。環境基本計画につきましてはそういったことも含まれますが、その他の低炭素のことも含めて記載してあります。低炭素社会の実現に向けた課題が書いてあります。

【部会長】

低炭素ばかり言うと、原発となりますのであまり低炭素と言わない方がいいと思います。こちらの実行計画の方はどうしても低炭素になるわけですから、環境基本計画の方はもう少し緩めた方がいいのでは。国の方針が低炭素となっていますのでもう少し違った表現というか、12 ページの環境目標の所でも 2 回出てきますし。原発で事故でも起こされれば、持続可能ですかということです。

【事務局】

全体の流れとして、国が環境分野の設定として低炭素社会と言っていますので取り上げないということは難しいのですが、低炭素の露出については検討させていただきたいと思います。

【部会長】

もう少し、総合的な章でライフスタイルを考えると、低炭素は実行計画の

方で記載するなど、国や県などをそのまま受ける必要はないと思うけれど。持続可能というけれどみんな本当に考えているのかと思います。

【事務局】

環境白書においては、温暖化対策は地方での取り組みが重要と記載があります。

【委員】

両方の計画に言えるのですが、山口市の目指す環境像の章があり、どんなまちを目指すのかこれでは見えてこないです。そこが見えないとどこに力を入れてまちづくりを進めていくのか、対策を行っていくのか全く見えない。課題になっていることを解決していく方向性は分かるのですが、課題解決だけでいいのか。私たちが未来に住みたい山口市はどのような山口市かがここから見えるようにしておかないと市民は動かないと思います。どうにか見えるような形にできないかなと思います。

【部会長】

順番に関連するのかもしれませんがね。第1章で計画の基本的事項を書いておいて、第2章で山口市の目指す環境像、次が環境目標に繋がりますね。

【委員】

今の話は山口市の総合計画と関連のある話ですが、我々は総合計画の方の細かい資料まで見ていないので、どのような協議がされているのか分からないですが、強い関連があると思います。

【事務局】

基本的に行政評価として意識してしまして、政策ごとにグループがあり、その中に施策がいくつかあります。簡単に説明しますと環境は新しい総合計画の中で安心安全・環境・都市の所に位置付けられ、自然環境の保全と生活環境の維持の中に環境が入っています。その中の基本事業として環境保全意識の啓発、地球温暖化対策の推進、地球にやさしいエネルギー対策の推進、ごみ排出量の抑制、リサイクルの推進、ごみの適正処理、生活公害対策が入っています。

【部会長】

総合計画の中で、環境というのが一つの括りで入っていないですね。

【事務局】

環境で一つではないです。ベクトルが人口減少社会に対応した人口増対策に

向けた市域近隣市街を含めての経済交流圏の確立となっていて、残念ながら環境分野については、ごみ対策について重視されているということになっています。

【事務局】

強いて言えば、コンパクトシティであったり、あとはアメニティ、快適性の方に趣が置かれている状況です。

【部会長】

1章で計画の目的はあるわけですね。目的と目標は違うのかな。こういうまちを作るために計画を作るのですよという。

【委員】

環境基本計画の上位の法令や条例と温暖化対策の実行計画では違うのですか。要は密接に関連しているが、並びとしては別なわけです。別ならば別でいいのですが、環境基本計画のどこと繋がっているのかという関係性です。

【事務局】

実行計画の目的としては、温室効果ガスの排出量の抑制の事柄、事項を定める計画で、現時点では気候変動に対する適応策というものを具体的に書くということは必ずしも必要ではないということです。具体策として適応策を見ることはないのですが、適応策は、国が適応計画を作っていますので、それから先に自治体にも作りなさいということになれば、別に計画を策定することになります。あくまでも温室効果ガスの抑制に関するものが具体的な行動計画としてありまして、計画目標としてどう寄与するかということがあります。市で量れるものかは別の問題としてあります。環境基本計画の方は環境基本法の方から来ていて、環境基本条例の中で市の環境施策のために作るものと位置づけられています。総合計画の中では最も基本的計画となっています。また条例の中で環境概要、年次報告書を審議会や市民・事業者にお示しすることで進行管理をしていくことになっています。

【部会長】

温暖化対策については、防災についても重要になってきますね。防災についてはあまり詳しく書いてありませんが、ここで捕捉することはありますか。

【事務局】

実行計画の方は、温室効果ガスの削減が主な趣旨で適応策についてはほとんどの自治体で書き込まれていない状況です。気候変動に対する最初の計画を国

が示していますので地方自治体で示すのであれば、別計画ということになります。実行計画とは別の計画となる可能性があります。実行計画につきましては、温室効果ガスの削減に向けた具体的な施策を記載していますが、適応策と表裏一体のものあると思います。適応するために打ち水をします、という考え方もありますので、現時点では緩和策という整理で温室効果ガスの削減に向けた取り組みが列挙してあるということです。基本計画の方は適応の進捗も含めまして今後どうなるか分からないので未整理というか、研究ということで挙げてありますが、現在の気候変動に対する対応策として防災等を書き込むことを想定しています。

【委員】

自然は、私たちに安らぎを与えてくれますが、時として牙をむいた時の影響力は大きいです。特に今回の九州北部豪雨があると市民の関心も高いと思うのですが、どこまで盛り込んでいくのが難しいですね。対応策と適応策の違いが曖昧といいますか。

【事務局】

温暖化に関しまして緩和策と適応策というのがありまして、どういったものが適応策であるかというのは、現在国の方で整理がされつつあります。行政用語的に適応策をどの程度使用するかは未整理であり、気候変動への対応という形で列挙してあるというのが先ほどの説明です。緩和策と適応策は国が示しているのですが、温暖化は防止ができないので緩和していくという策が現在実行計画としてなっているものと今ある現象に費用をかけてでも適応していかなければいけないというのが適応策になります。

【委員】

防災に近いものになってきますね。

【事務局】

簡単に申し上げますと緩和策がCO₂を削減していきましょう。適応策が暑い時期をどう過ごしましょう、熱中症対策であったり防災で言えば集中豪雨にどう対応していくか貯水池を作るとかになるかと思えます。

【部会長】

あまりやり過ぎると環境に良くないと思う。

【事務局】

そうですが、暑いですがエアコンをつけないで熱中症になるというのは、気

候自体が違いますので。国レベルで言えば、作物の品種改良であつたり植える場所の変更があると思うのですが、現時点で市のできることと国の方向性を見定めていくことの記載をさせていただきたいのですが、少なくとも市として気候変動に対応することについては予算がありますので、その部分についてはここに列挙させていただきたいと思います。

【委員】

私も山口市ならではのものがどこにどう反映されているのかよく分かりません。山口の地形の特徴であつたり盆地であることの特徴が温暖化を加速していて、一方では海もあつたり、山も近く川が流れていたりがあると思います。この計画は、山口市でなくても通じる一般的な計画だなと感じました。温暖化実行計画では温暖化のお勉強みたいに感じました。山口市であるからこうできるというのが感じられませんでした。部会長が言われました低炭素社会ということに私も気なっていて、未来の子供たちが安心して生活できる低炭素なまちというのは、国が示しているものなのでしょうか。推している言葉かもしれませんが、一般の人たちは低炭素なまちというのは理解できているのか、中には温暖化CO₂削減が並行して書いてあります。その認識がパンフレットになったときに市民の方たちが理解できるのかなとは感じました。

【事務局】

身に馴染みのない言葉だとは思いますが。最近の国の計画であつたり、環境白書の方で言っている言葉ではあります。いろいろな意味を包含しますので、CO₂削減といいましても正式に言えば温室効果ガス排出削減、その上での対炭素という整理だろうと思います。確かに行政用語の段階だろうとは思っていますので分かりやすさという観点から他の言葉があれば考えたいと思います。

【部会長】

自動車に安易に乗りすぎるね。このままにしておいて温暖化防止ができるのかと思いますね。電気自動車では、あれも電気を作るのに化石燃料を使うかもしれないしね。健康にも良いしもう少し自転車を普及するとかも大事だと思うのですけれども。

【委員】

山口の人はどこに行くのも車で、止めてはいけない所でもなるべく近くに止めようとするのでビックリしますね。本当に歩きませんね。先日久しぶりに東京に行きましたが、本当にみんな歩くので、すぐにタクシーに乗ろうとすると怒られて、私もそうなのだと反省しました。

【部会長】

時間配分が難しいのですが、ここはという意見はありますか。私の意見は少し違うので事務局の方ですり合わせをお願いします。それと地球温暖化の実行計画の方を説明していただけますか。

【事務局】 温暖化対策実行計画の説明

【部会長】

実行計画の方に移る前に、2Rは市民の義務として分けることは大事だと思います。リデュースに関しては、市民が取り組めることは少ないですね、物を作るメーカーの方や流通の方でがんばらないと。

【事務局】

今までは、市としてできる事がないとしてリサイクルに皆さんと一緒に取り組んできて引き続き実施していくのですが、2R自体も国民運動としてやっていかないといけないとして、国から示されています。フリーマーケットもですが、フリマのアプリであったりとしたITの進展もありリユースについても今後10年の間に打ち出していくべき方向性と合わせて書いてあります。3Rのリサイクルがもういいというものではありません。一方でリサイクルばかりで疲れている方もいらっしゃいますし、リサイクルの区分が本当にこれでいいのかと疑問を持たれている方もいらっしゃいます。高齢化によってリサイクルをしないといけないのかということもあり、リサイクルの方法、啓発の仕方、継続的に市民に向き合っていただけるかは考えないといけないと思っています。また、食品ロスの問題といった新しい問題などについて書いてあります。施策の書き方として2Rとリサイクルと記載していますが、3Rのことについて記載しているということです。

【部会長】

最初はリサイクルだけであって3Rになって今度は2R、市民にとって分かりにくいかなと思います。現実問題として高齢化でリサイクルの分別が難しくなってくる。プラスチックの包装容器でもきちんと分別しないといけないことを意識を持ってもらわないといけない。

【事務局】

3Rの推進の中でより2Rを進めていこうという捉え方です。最初にリサイクルが出てくると思うのでもう少し2Rの部分に当てていきたいという意図です。今までは、発生した部分、リサイクルについて重視してきましたけれども発生側の方からも抑えていこう、2Rを重視していこうと国が基本計画の骨

子案であったり環境白書で言っています。

【部会長】

昨日も周南市のリサイクルセンターを見学させていただいたのですが、現場の人は容器包装へ処理困難物が混ざっていて迷惑だと言っておられました。現場の人の声を聞くとすごく大事な問題だと思いました。環境目標4は温暖化の所でも出てくると思うので少し整理が必要と思います。SDGsは環境基本計画の中にも出てきましたよね。その割には国際的な観点が省かれていましたので、ここは益々重要になると思うのですが。市民が紙を使うときも他の外国の森林資源を破壊しているという意識を持たないといけないし、簡単に消費しますというのも観点を持たないといけない。

【事務局】

基本計画と実行計画との内容調整もありますので検討させていただきます。

【委員】

基本計画の方でも行政の取り組み、事業者の取り組みという所ばかり読んでいたのですが、今後、市の所には関連する事業を書いてくださるということですか。

【事務局】

はい。

【委員】

市民と事業者の取り組みの所で24ページ気候変動の所ですが、熱中症対策とここだけ投げやりといいますか、他のとことは「しましょう」という表記ですが。

【事務局】

ここは書き方の検討中ということで。

【委員】

熱中症で無くなられる方は、自然災害よりも多いので個々の文章の書き方を検討していただきたいのと48ページの社会経済の仕組みの所で高齢者のゴミ出しの話がされていましたが、地産地消に心がけましょうとありますので、記載をお願いします。

【事務局】

ここはまだ、そこまで行けていないので、すみません。まだ、整理しきれていない部分ですが項目に応じたものを書くつもりです。

【部会長】

防災面、地域特性というのとは何かありますか。

【委員】

やはり南北に長いということもありますし、大きな川を抱えていますし、天花の辺りは今回の福岡の災害を見ると似たような感じがします。中山間地域が分散してあるといった所なので。地べたといいますが、自分が今どんな環境に暮らしているのかを理解しておくことが大事だと思います。

【事務局】

先ほど説明をしましたが、これから地域特性の分析を行い、示していく段階ですので、ここに記載してありますのは、気候変動への適応とはしておらず、今起こっていることに対応するということが書いてあります。24 ページの基本的方向性の所にも書いてありますが、適応に関する意識の向上という部分に今後のことが書いてあるということです。ここには適応策のことが書いてあるのではなく、現在起きている気候変動に対応している市の取り組みが書いてあり、今後の適応策への取り組みについて検討しますということが書いてあります。

【事務局】

過去の災害の例を見ますと 21 年は小鯖の鳴滝周辺が崩落しました。23 年には集中豪雨に遭いまして、泉町、9 号線を小郡方面に行ってコープ山口さんの辺りが一時的に冠水しました。朝田の浄水センターが榎野川の氾濫で水没して一時的に市内が断水しました。直近では 25 年の阿武川の決壊の阿東災害がありました。

【部会長】

福岡でも見ていると間伐材が流れていて、どういった形で流されてくるのかと思います。

【事務局】

山口市ではあそこまでの材の被害があったとは聞いていないのですが、阿東の災害では阿武川に材が流れたとは聞いています。市域もかなり広くなりましたので土質に関しても千差万別でございます。阿東地域は火山灰土ということ

ですし、小鯖・大内周辺は真砂土の傾向があります。

【委員】

今までは、真砂土の所や植林をしている所へ雨が降ったら危ないと言っていました。今回の福岡の豪雨も想像を超える集中豪雨で、大学の先生も研究されているところでは福岡も真砂土があります。今回は真砂土ではないところも崩れています。植林ではない100年以上の木も倒れているので、追いつかないぐらいの雨量が増えているので地盤であったり人工的に植林したというのは、全て洗い流すぐらい崩れてしまうので、温暖化による雨量の増加は恐ろしいと思いますので、山口でも真砂土でないのも安心ではないということだと思います。

【事務局】

その他、地震のことも考えますと一部液状化が心配されている地域もあります。気候変動への取り組みは多岐にわたります。浸水対策から防災や健康福祉までそういった意味では環境の課題のみではなく、どういったまとめ方ができるのかを議論している所です。今現在では理解の促進を集中的に行って、実際に周知ができ蓄積されていけば気候変動に対する計画を作るべきと思いますが、そこは別の計画として整理することも必要かと思います。ここでは書ききれないというのが正直なところです。

【委員】

基本計画に関しては、ここに上がっている施策が全部実現できればいいでしょうけれどもそうはいかないでしょうから、今回も何を重点的に進めていくのかを前回と同じように作るべきだと感じています。

【事務局】

重点プロジェクトにつきましては、本日頂いた意見をもとに今後設定し改めて提示したいと思います。基本的に環境の3分野と総合推進として整理した上で、横断的なものとして注力したいものをプロジェクトにするという意味で構成としては、現計画と同じものを想定しています。

【部会長】

次会には提示できそうですか。

【事務局】

指標の設定も含めまして、複合的に提示したいと思います。

【部会長】

自然共生の中に、生活環境、都市景観なども入ったのですが、まとめてあるということでもいいですか。環境目標4の環境学習はすごく大事だと思うのですが、これでは弱いといった気がします。

【委員】

ここは気になっていた所で、ものすごく重要なのですが環境学習・環境教育という言葉だけで語られていてどういう概念でという考え方を参考でもいいのでいくつが挙げていただけるといいと思います。これを学校の先生が見たときに環境教育で何をすればいいのかが理解できないのではと思います。

【部会長】

我々のグループも環境省の事業で苦勞している所ですよ。どうしても学校の先生も余裕がないですし、学力偏重主義ですよ。これでは重要な価値観の創造に結びつかないですよ。覚悟を決めて触れておくことも重要でないでしょうか。教育部局にもある程度の相談をしながらね。学校にアプローチするけれど先生方はよう言わないから。学校も小学校だけではないですし、担当も多岐にわたっていますし。理念とともに体制作りも考えましょうということです。

【委員】

温暖化の部分ではライフスタイルの思考であったり、大人でもその概念がしっかり浸透していない部分もありますので、基本的な言葉も重要ですが、根幹にある考え方をしっかりする必要があると思います。

【事務局】

環境目標4では言われているような意見をこれまでも意見を頂いていますので、学齢による教育、社会教育的なこととセットでもう少し頑張ってみます。

【委員】

小学4年生に配布している「あいらぶ山口」はすごくいいと思うのですが、私たちが分別教室に行ってもすごくわかっている子もいます。これは、何年に一度の割合で見直しがされているのですか。

【事務局】

見直しは小規模ですが毎年行っています。今回であれば、大浦のクローズド型、一般廃棄物最終処分場のページに関しては変更を行ってトレンドを抑え、教育委員会へも確認を行いつつ資源循環推進課で改定しています。

【部会長】

現地に連れて行って実際に見て学ぶというのも大事ですから、全小学生が行く機会というのは難しいでしょうがどのくらい実施しているのでしょうか。4年生は清掃工場へ来るので、例えば自然共生に関してもプログラムを考えるとか体系だったものが必要かと思います。

【事務局】

教育委員会の、先生の関与をどの程度していただけるかを注力しないといけません、社会見学や副読本の所はうまくいっているところだと思います。それ以外ではいろいろな学習の中に環境の要素が入っており学習を進めているとは聞いておりますので、要素の取り入れ方は教育委員会との話の中で相互理解の中でどの程度入れていけるかということになると思います。

【部会長】

山口市は進んでいる方だと思いますが力を入れて欲しいところです。

【事務局】

ポイントごとの捉え方として関係する地域の小中学校へはイベントのパンフレット等を配り参加を呼びかけていますので、ここを全市的な動きとして自然共生の中に書き加えることはあると思います。

【部会長】

時間もなくなりましたが、今回の骨子案は事務局で作られたのですか。見せていただくの初めてでしたか。

【事務局】

そうです。基本計画も実行計画も文章とした形でお示しする最初のものです。

【部会長】

実行計画と被る部分はこちらを優先するということですね。限られた時間で全部を議論するのは難しいので、帰られてからの気づきは個別に事務局まで連絡いただければと思います。では今後の予定をお願いします。

【事務局】

今後のスケジュールにつきまして御説明いたします。本日いただきました意見をふまえ、今後事務局の方で、骨子案を素案へとブラッシュアップし、その中で同時並行で進んでおります第二次山口市総合計画策定作業での事務事業

	<p>の組み立て、指標の設定状況などと整合を図りながら、環境基本計画の進行管理指標の検討をいたしまして、本文中に盛り込んでまいりたいと考えております。毎年の環境審議会におきましても、環境基本計画年次報告書でございます環境概要に関しまして、進行管理指標の妥当性に関する御意見を多く頂戴しておりますことから、指標の設定は重要と考えておりますので、環境目標の達成に向けて、ふさわしい指標につきまして、御意見をいただく予定としておりますので、出来たものに関して御意見を頂きたいと思っております。また、同時並行で、重点プロジェクトの検討作業にも入ります。重点プロジェクトにつきましては、目標から1つずつ程度設定するようなイメージと分野横断的に推進するようなものを選択できればと考えており、そうした内容を盛り込みまして、骨子案から素案といえますか中間案をお示ししたいと考えております。できましたら9月に再度部会を開催し、その時点でできております素案を提示させていただきまして、御意見をいただきます。本日皆さんが揃われていないので、後日、日程調整をさせていただき予定としております。実行計画もあわせまして、ブラッシュアップしたものを提示させていただきますが、今回同様に同時に審議していただくことでよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（意見なし）</p> <p>では、9月にもう一度ということでもよろしく願いいたします。その後11月には審議会を開催し、計画案の説明をしたいと考えておりますのが、今後メール等で意見をお聞きする場もあると思っておりますのでよろしく願いいたします。</p> <p>【部会長】</p> <p>今回の議事録もなるべく早く送っていただけるようお願いいたします。そのときに意見があれば書いていただくようお願いいたします。特にないようでしたら、本日の議事はこれで閉じたいと思っております。今後、事務局で精査をお願いします。また、本日の議事に関わらず委員の皆さんの御意見やお気づきがありましたら、後日でも結構ですので事務局までお知らせいただければと思います。</p> <p>【事務局】</p> <p>長時間ありがとうございました。8月末までに事務局までに意見をいただければと思います。本日はどうもありがとうございました。</p>
<p>会議資料</p>	<p>環境基本計画骨子案 温暖化対策実行計画骨子案</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>環境部 環境政策課 環境企画担当 TEL 083-941-2180</p>